オピオイドスイッチング

※本資料は「医療用麻薬適正使用ガイダンス（令和６年）」について、一部製剤の販売中止に伴い、関連するオピオイドスイッチングの図を抜粋・修正したものです。

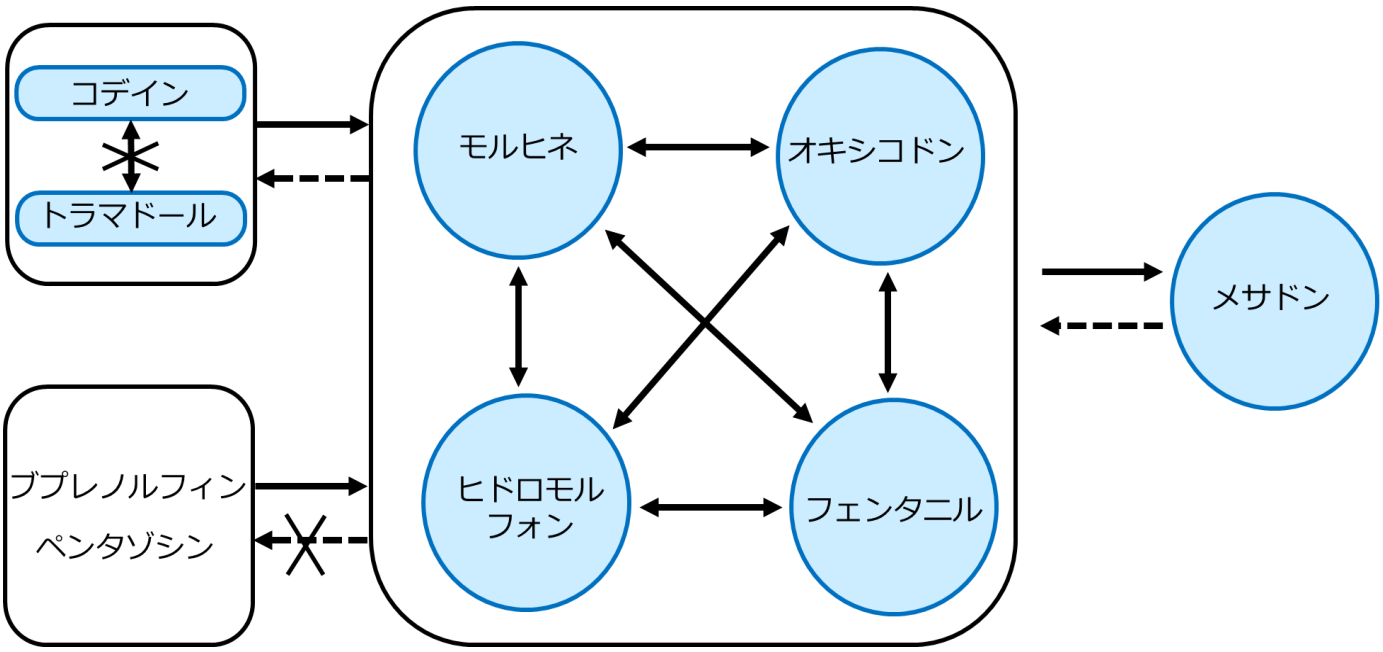


図 5. オピオイドスイッチング

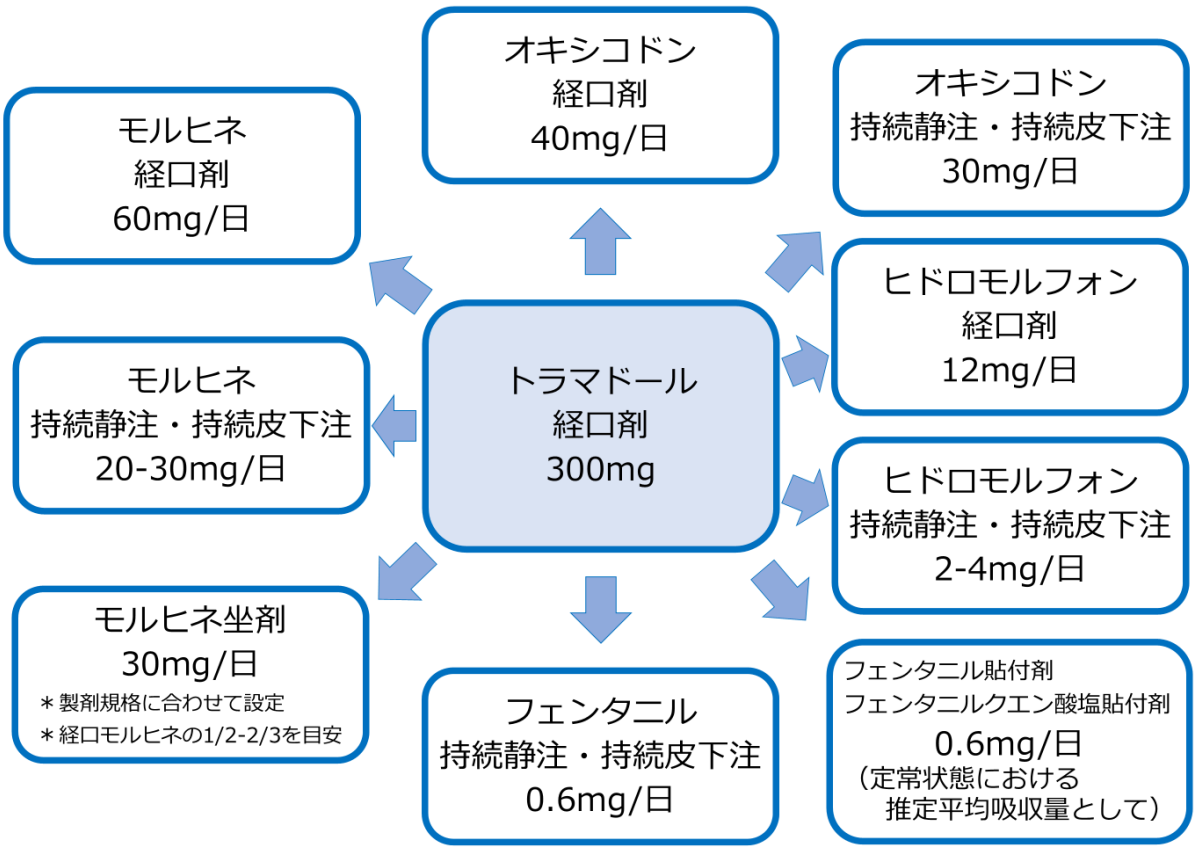


図 6-1. 経口トラマドールからのオピオイドスイッチング（換算量の目安）

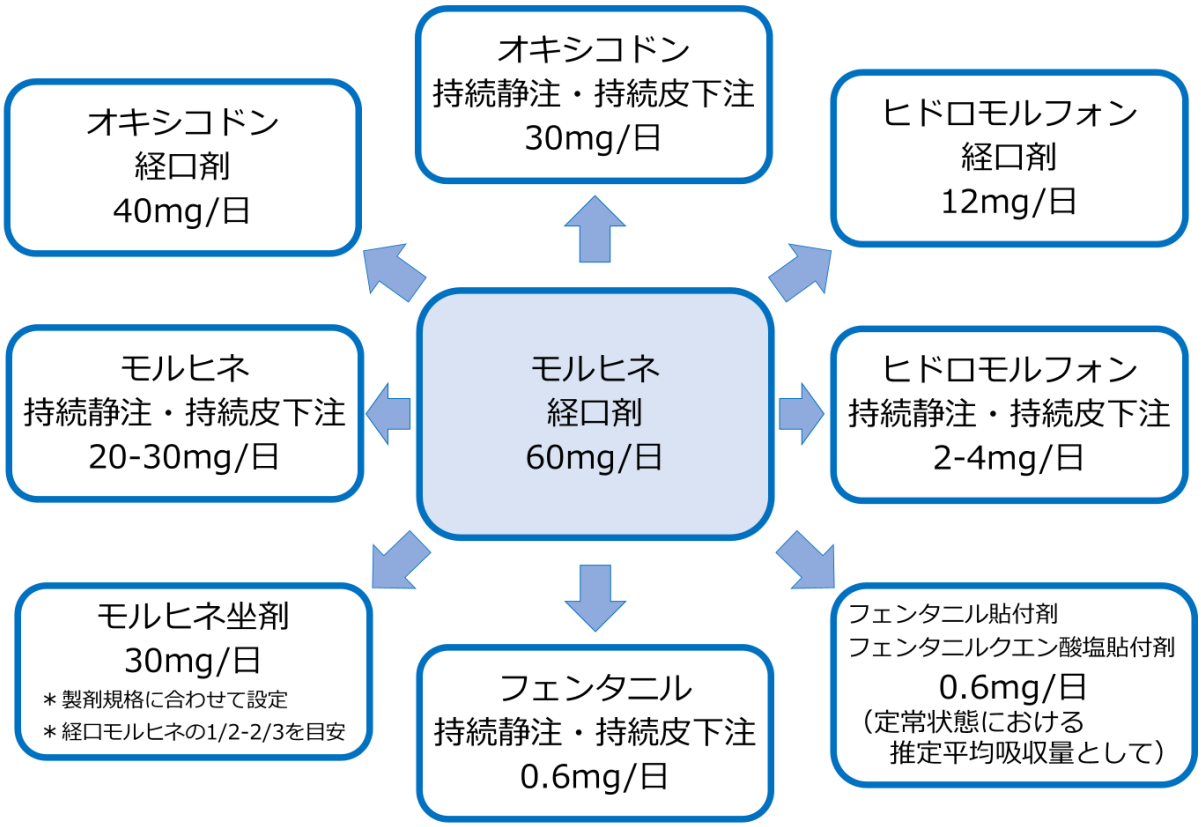


図 6-2. 経口モルヒネからのオピオイドスイッチング（換算量の目安）

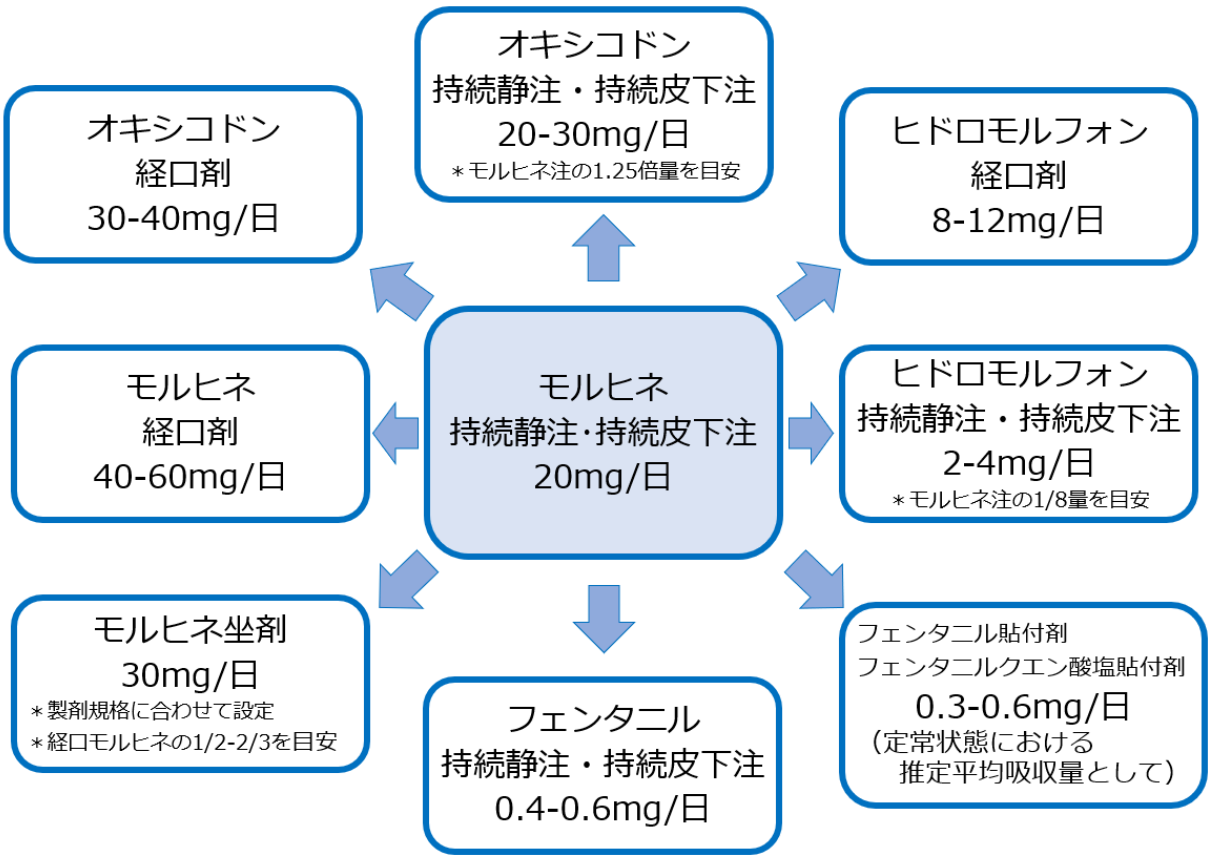


図 6-3. モルヒネ持続静注•持続皮下注からのオピオイドスイッチング（換算量の目安）

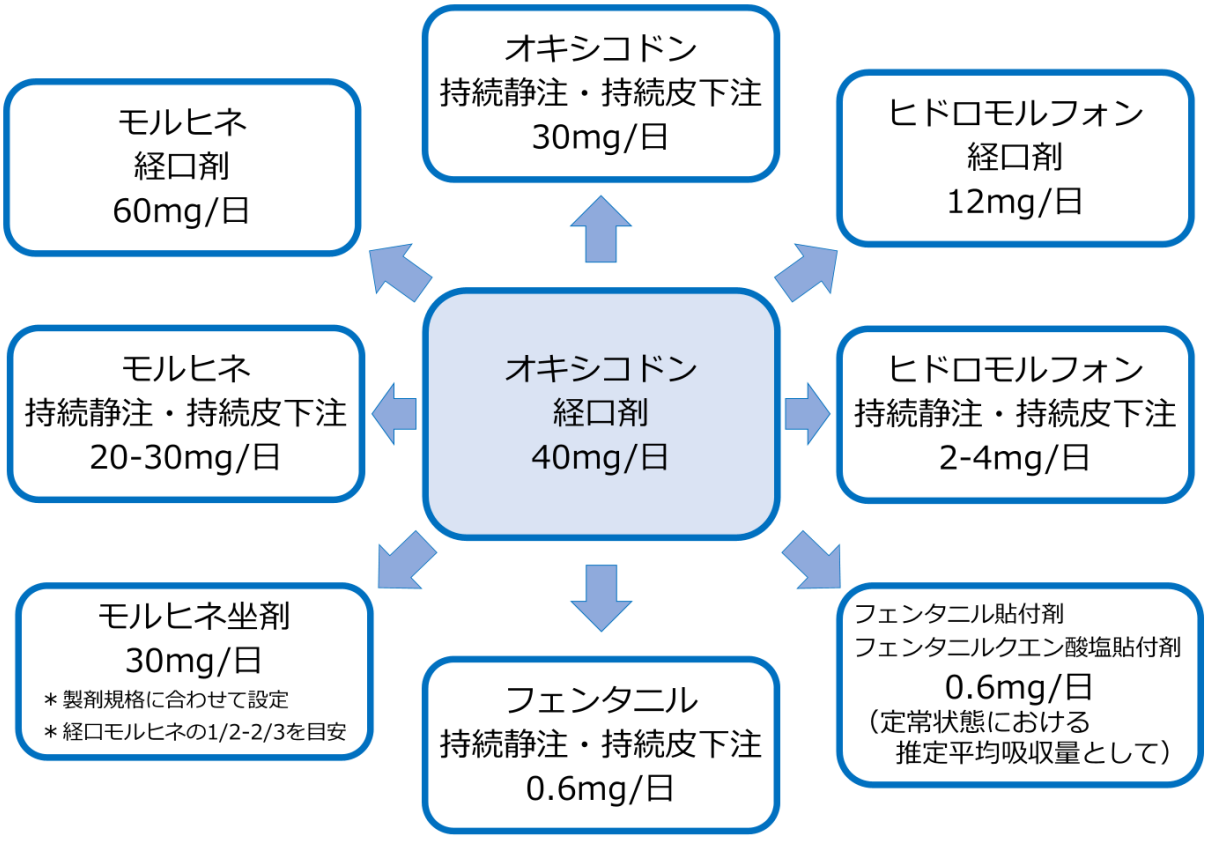


図 6-4. 経口オキシコドンからのオピオイドスイッチング（換算量の目安）

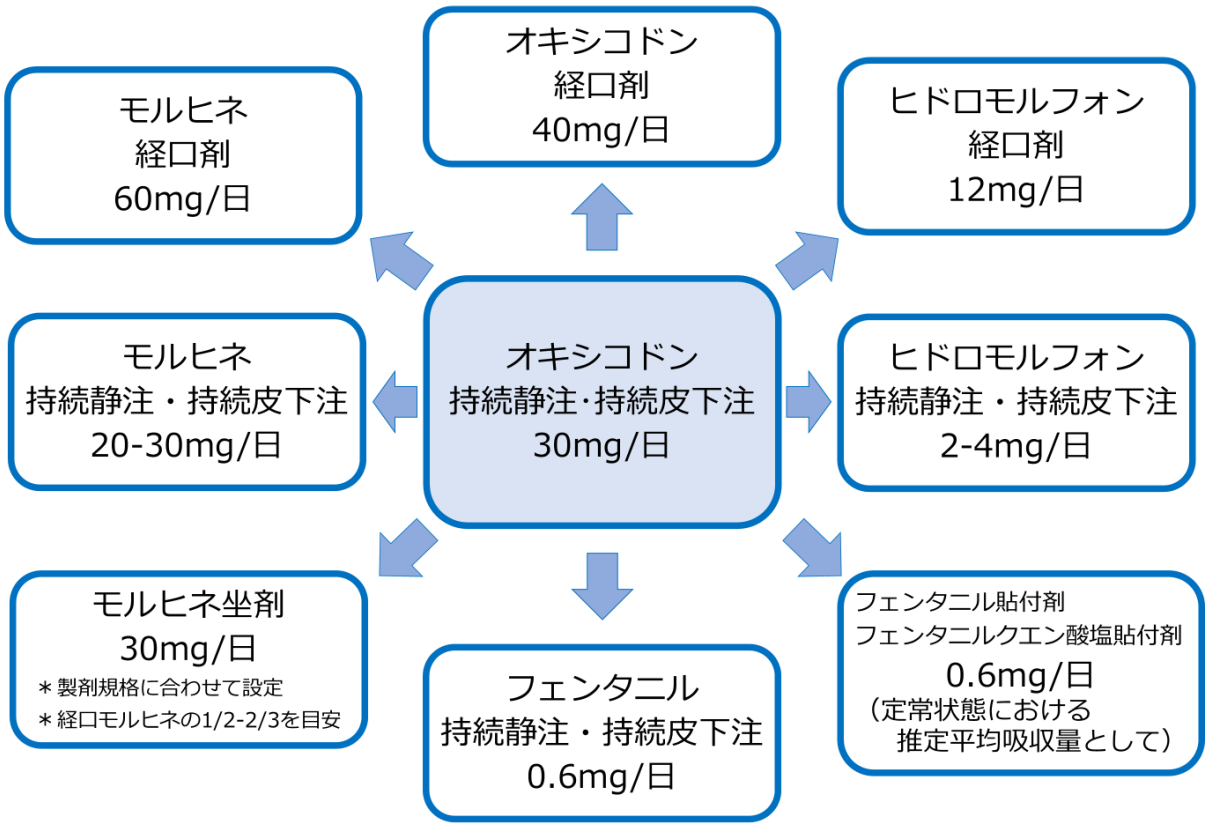


図 6-5. オキシコドン持続静注•持続皮下注からのオピオイドスイッチング（換算量の目安）

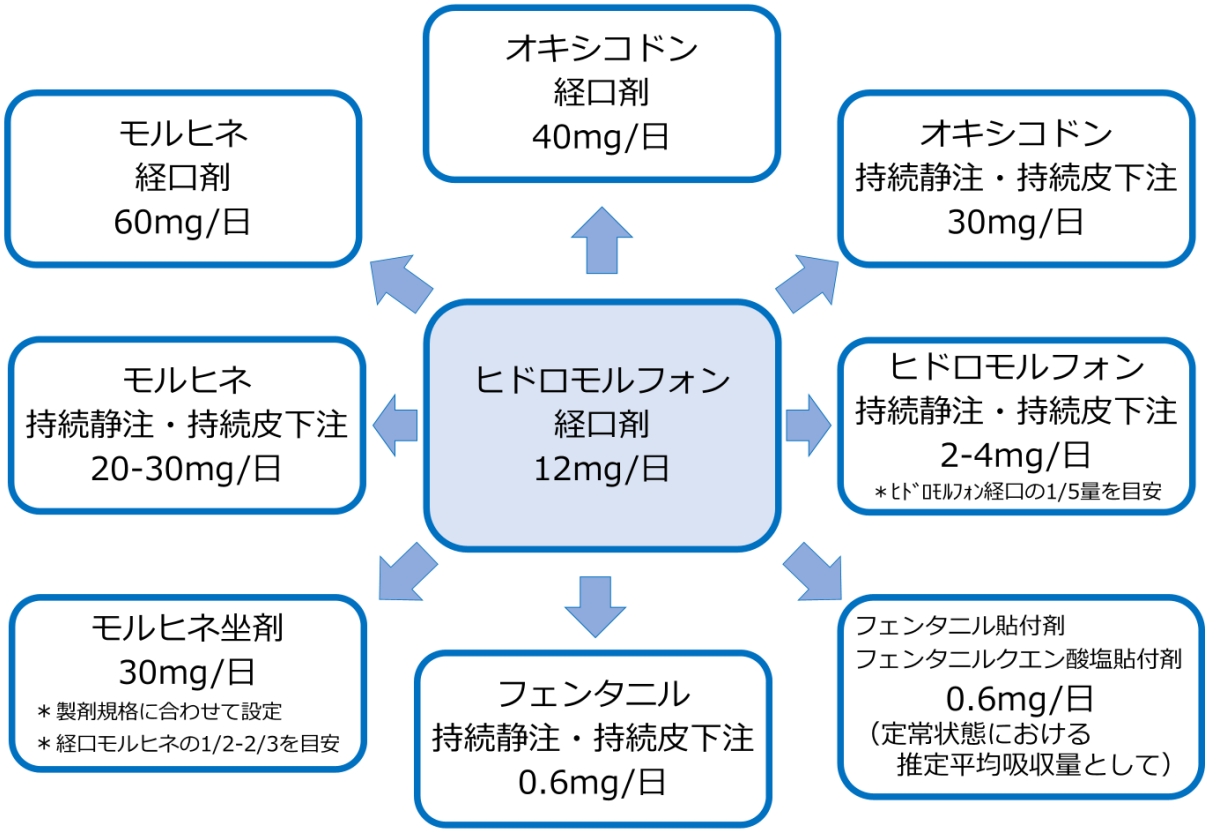


図 6-6. 経口ヒドロモルフォンからのオピオイドスイッチング（換算量の目安）

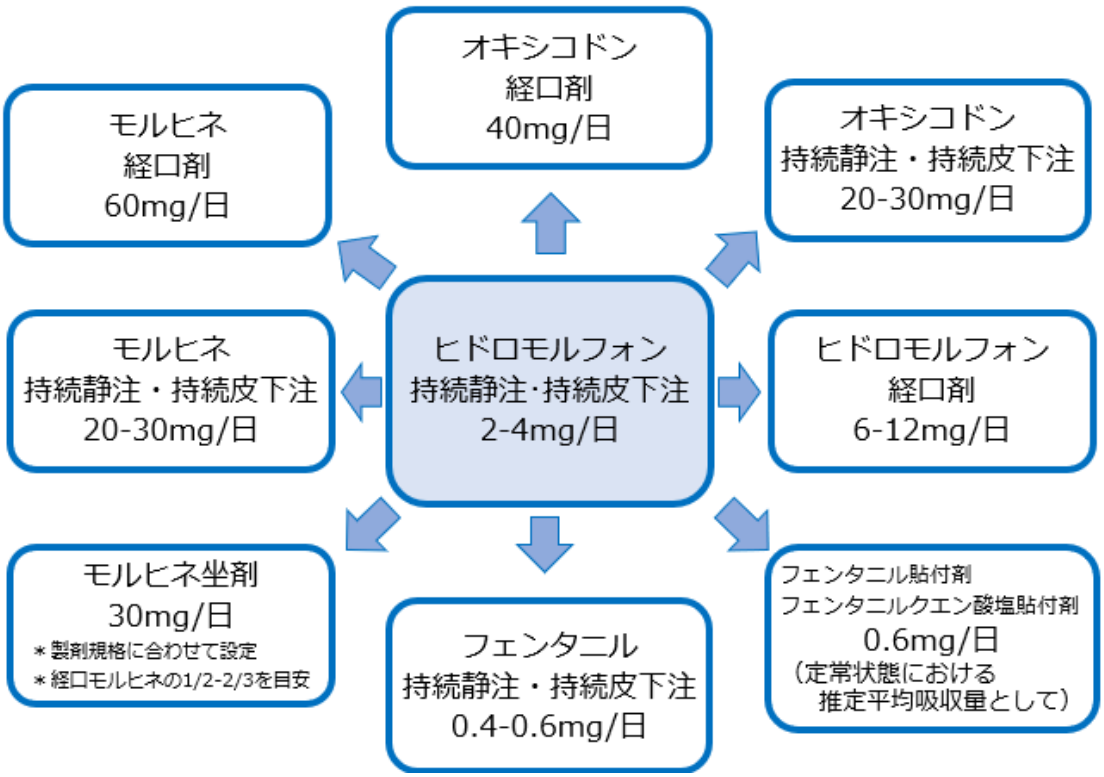


図 6-7. ヒドロモルフォン持続静注•持続皮下注からのオピオイドスイッチング（換算量の目安）

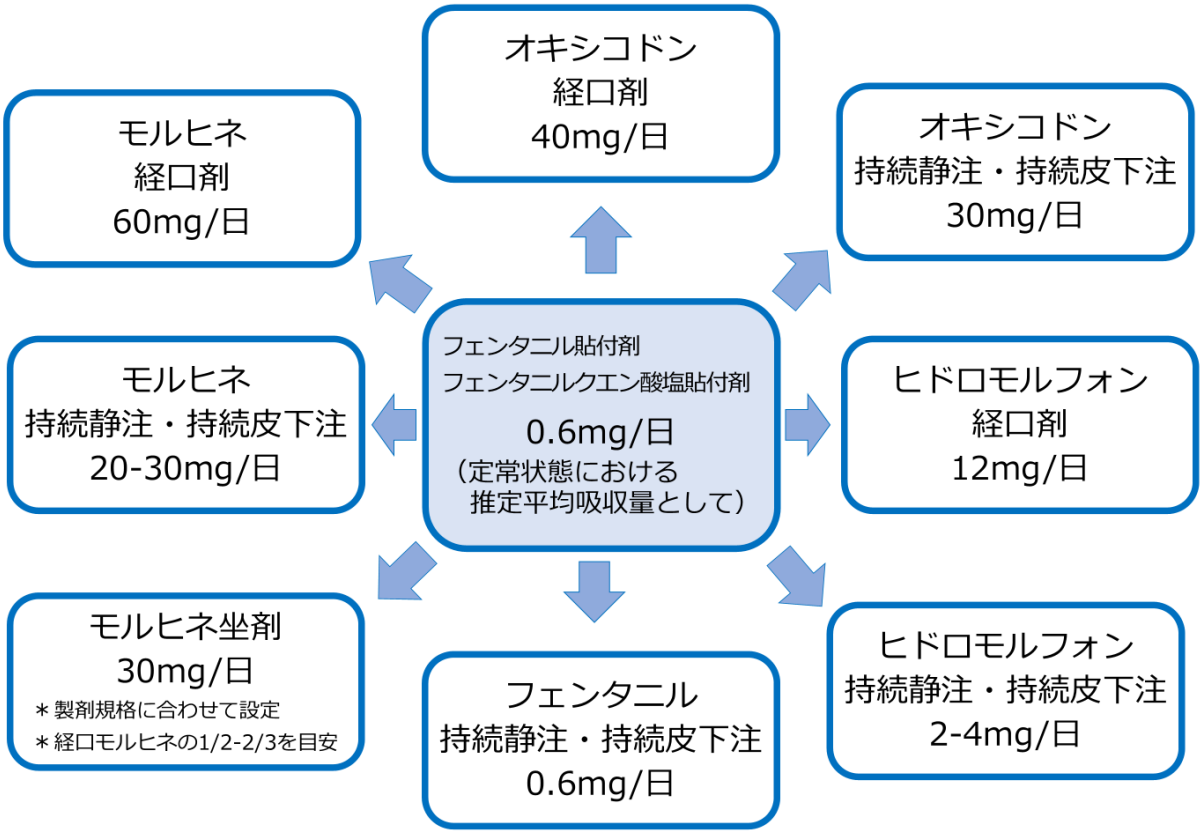


図 6-8. フェンタニル貼付剤からのオピオイドスイッチング（換算量の目安）

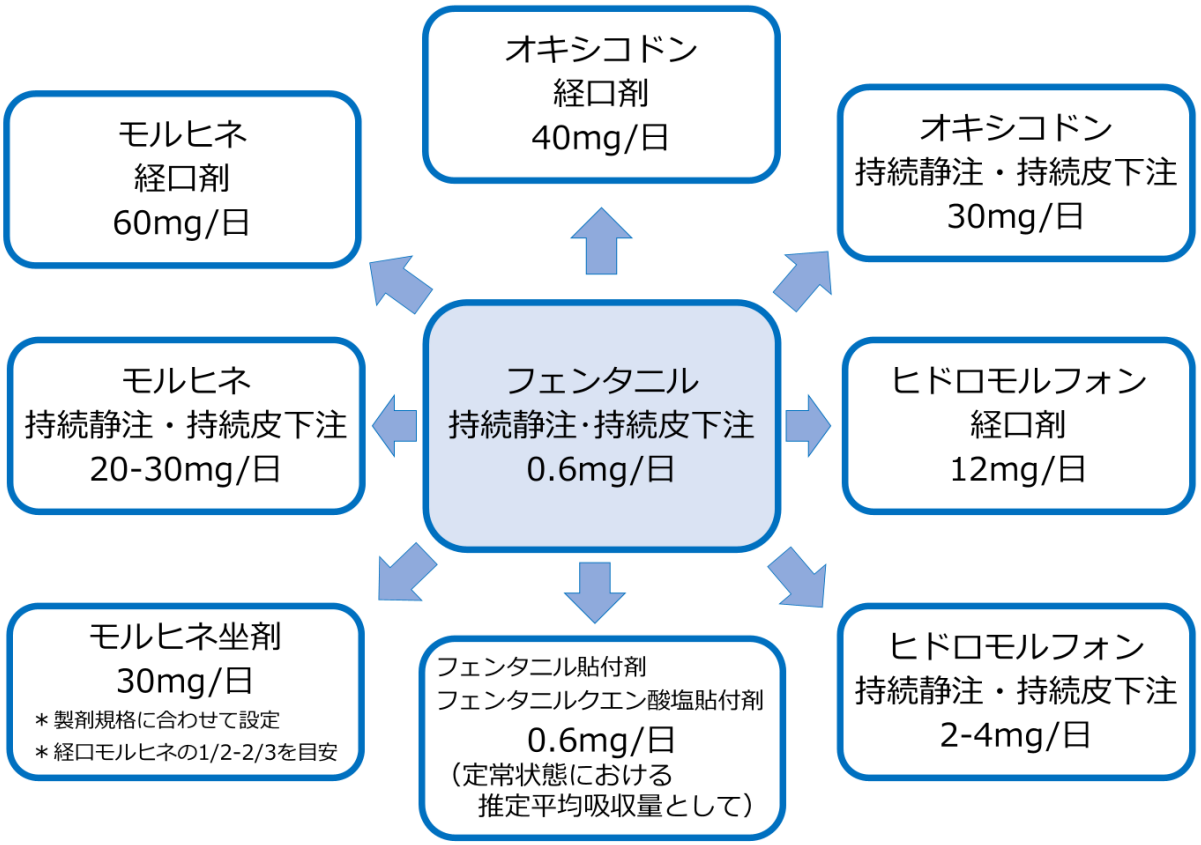


図 6-9. フェンタニル持続静注•持続皮下注からのオピオイドスイッチング（換算量の目安）

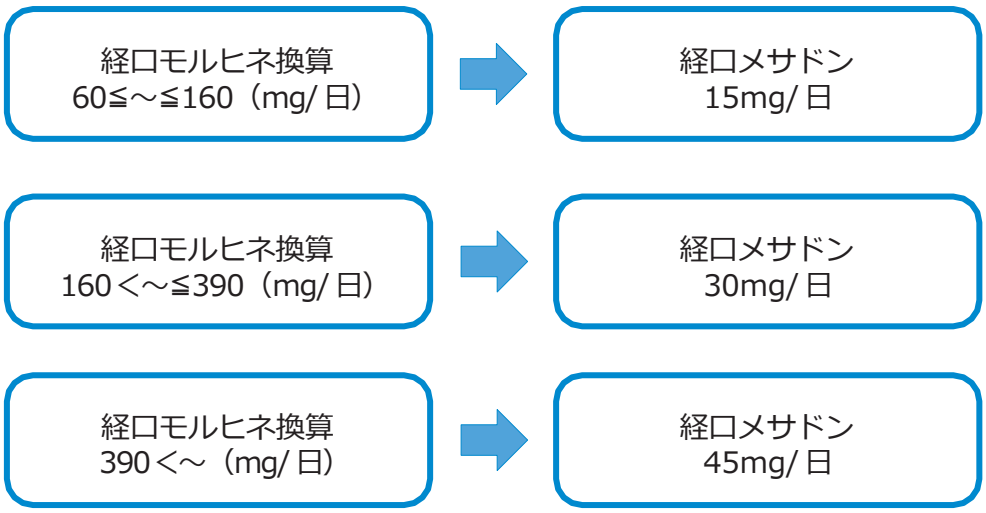


図 6-10. 経口メサドンへのオピオイドスイッチング（換算量の目安）

※メサドンから他のオピオイド鎮痛薬への逆換算の目安は確立していない